



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名 ヒラキ株式会社
コード番号 3059

上場取引所 東

URL <http://company.hiraki.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役 (氏名) 向畑 達也

問合せ先責任者 (役職名)取締役経営戦略室長 (氏名) 今本 清治 TEL (078) 967-4601

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 16,356 | △3.9 | 652 | △17.4 | 573 | △9.4 | 356 | △1.0 |
| 24年3月期第3四半期 | 17,011 | △3.5 | 790 | 28.1 | 632 | 43.0 | 360 | 44.2 |

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 565百万円(47.7%) 24年3月期第3四半期 382百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|----|----------------------------|----|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 25年3月期第3四半期 | 73 | 43 | 72 | 72 |
| 24年3月期第3四半期 | 74 | 89 | 74 | 07 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|------|-------|------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 16,632 | 26.9 | 4,477 | 26.9 | | |
| 24年3月期 | 15,920 | 25.1 | 3,989 | 25.1 | | |

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,477百万円 24年3月期 3,989百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 |
| 24年3月期 | — | 10 00 | — | 10 00 | 20 00 |
| 25年3月期 | — | 10 00 | — | | |
| 25年3月期(予想) | | | | 10 00 | 20 00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|-------|---|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 21,200 | △2.1 | 620 | △14.1 | 500 | △15.2 | 280 | — | 58 | 33 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) 、 除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料の4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 25年3月期3Q | 5,155,600株 | 24年3月期 | 5,061,600株 |
| 25年3月期3Q | 274,600株 | 24年3月期 | 261,500株 |
| 25年3月期3Q | 4,860,928株 | 24年3月期3Q | 4,812,123株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) セグメント情報等 | 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |
| (7) 重要な後発事象 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)におけるわが国経済は、依然低迷状況にあります。一部に下げ止まりの兆しもみられ、輸出環境の改善や経済対策の効果などを背景に、再び景気回復へ向かうことが期待されます。しかしながら、海外景気の下振れによるリスクは引き続き高い状況にあり、景況感は未だ先行き不透明な状況にあります。靴業界におきましても、個人消費が底堅い動きとなっているものの、依然節約志向の傾向にあり、また、気温の低下が遅れた影響から秋冬商品の立ち上がりは鈍く引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴」を中心とした「商品力の強化」、そして「商品力」を売上へとつなげる「現場力の強化」に取り組み、事業展開を進めてまいりました。

通信販売事業におきましては、話題性のある販促品により集客し、スニーカー、スクールシューズ、ワークシューズといったベーシック商品のまとめ買いにつなげる当社のビジネスモデルをより強固なものにするため、自社開発商品に対する社内での評価体制の強化、ディスカウント店舗における売れ筋情報収集の強化、顧客購入分析の徹底、さらに生産体制(協力工場管理)の強化を通じて「商品力の強化」に取り組みました。また一方で、「現場力の強化」としましては、商品企画担当の人材育成の環境を整備するとともに、開発手法・手順の明確化に取り組み、お客様に「驚き・楽しさ・満足感」をお届けできるよう開発商品を順次投入いたしました。

具体的には、従来のキャンバスタイプとは一線を画し、クールなデザインが幅広く支持されている『499円 ハイカットスニーカー』のほか、累計販売足数80万足を突破した『499円 モコモコボアブーツ』など、新しい取り組みはもちろん、定番品についてもデザイン・機能・価格でさらに満足していただける商品の開発に取り組みました。

ディスカウント事業におきましては、バラエティ・ディスカウント・ストアとして競合店との差別化を進めるために、岩岡店における「日本最大級の靴売場」、および各支店での「圧倒的な地域一番の靴売場」を中心とした「商品力の強化」、ならびに売場での「販売力の強化」を掲げ店舗づくりに取り組んでまいりました。「商品力の強化」としましては、自社開発商品を中心とした低価格帯商品から各種一流インポートブランドの高価格帯商品まで取り揃えた価格帯別商品構成の充実、仕入先政策の強化(新規仕入先の開拓、既存仕入先の深耕、休眠仕入先の復活)を掲げ競合他店にはない品揃えを目指し取り組んでまいりました。また「販売力の強化」としましては、お客様に満足のいくお買い物をして頂けるように、単品管理による在庫管理の精度を推進させ、欠品のない売場に向けた仕組みの構築、定期的な勉強会などによる靴販売員のレベル向上に努めました。

また、卸販売事業におきましては、11月より靴販売店向けカタログ「大卸」を好機として再開し、OEMを中心として収益性の確保を図りながら量的拡大に向けての取り組みを強化いたしました。

このような取り組みにもかかわらず、通信販売事業での有効顧客数の低迷、および不採算店舗であった氷上山南店を10月末に閉店したことによる売上高の減少が影響し、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、163億5千6百万円(前期同四半期比3.9%減)となりました。

利益面につきましても、引き続き徹底したローコストオペレーション、経費削減に取り組みましたが、売上高の減少を補うまでにはいたらず、当第3四半期連結累計期間における営業利益は6億5千2百万円(前年同四半期比17.4%減)、経常利益は5億7千3百万円(前年同四半期比9.4%減)、四半期純利益は3億5千6百万円(前年同四半期比1.0%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、残暑が続いたことから10月の秋冬商品が苦戦し、11月以降気温の低下とともにブーツを中心とした冬物商品に動きが見られたものの、10月までの落ち込みの影響をカバーしきれず厳しい状況となりました。

この結果、売上高は80億8千3百万円（前年同四半期比5.1%減）となりました。利益面では、カタログ製作費用の削減、物流業務の効率化に引き続き取り組み、収益改善に努めましたが、売上高の減少が影響し、セグメント利益（営業利益）は9億9千6百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、靴を中心とした「商品力の強化」および「販売力の強化」に取り組んだ結果、売上高の落ち込み幅は縮小傾向にあります。なお、10月末にて閉店した氷上山南店を除いた売上高での前年同四半期比では1.6%減となり、10月末にて閉店した氷上山南店による粗利率の改善、および不採算店舗であった氷上山南店の閉店などにより損失額は減少し、セグメント損失（営業損失）は3千4百万円（前年同四半期は9千万円の損失）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、大口OEM販売先との取引の増加により、売上高は増加しましたが、粗利率の低下などの影響により、売上高は4億1千4百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益（営業利益）は3千2百万円（前年同四半期比27.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債および純資産の状況の分析）

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、8億9千5百万円増加し、91億1千1百万円となりました。これは、現金及び預金が11億4千万円増加し、商品が1億7千3百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1億8千3百万円減少し、75億2千1百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億7千4百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、7億1千2百万円増加し、166億3千2百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、6億3千1百万円減少し、44億9千万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が3億2千4百万円増加し、短期借入金6億円、未払法人税等が1億1千1百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8億5千5百万円増加し、76億6千4百万円となりました。これは、長期借入金8億1千7百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、2億2千4百万円増加し、121億5千5百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、4億8千8百万円増加し、44億7千7百万円となりました。これは、利益剰余金が2億6千万円、繰延ヘッジ損益が2億9百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント増加し26.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ11億3千9百万円増加し、27億5百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億7千万円(前年同四半期は9億1千3百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億6千6百万円の計上、たな卸資産の減少2億1百万円、法人税等の支払額2億7千6百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2千万円(前年同四半期は5千4百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1千7百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、4億3千万円(前年同四半期は15億2千3百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入28億円、短期借入金の純減少額6億円、長期借入金の返済による支出16億5千8百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想に関しましては、平成24年9月7日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更が損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,567,178 | 2,708,013 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,098,422 | 966,907 |
| 商品 | 4,968,187 | 4,795,162 |
| 未着商品 | 177,650 | 150,330 |
| 貯蔵品 | 19,310 | 18,482 |
| 繰延税金資産 | 157,668 | — |
| その他 | 250,337 | 498,861 |
| 貸倒引当金 | △23,354 | △26,661 |
| 流動資産合計 | 8,215,399 | 9,111,095 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,969,361 | 3,794,760 |
| 土地 | 3,321,205 | 3,321,205 |
| その他(純額) | 239,572 | 227,071 |
| 有形固定資産合計 | 7,530,139 | 7,343,037 |
| 無形固定資産 | 64,676 | 44,067 |
| 投資その他の資産 | 110,075 | 134,277 |
| 固定資産合計 | 7,704,891 | 7,521,381 |
| 資産合計 | 15,920,291 | 16,632,476 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,148,593 | 1,094,803 |
| 短期借入金 | 600,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,921,455 | 2,245,724 |
| 未払法人税等 | 251,325 | 139,641 |
| 賞与引当金 | 159,649 | 87,943 |
| 役員賞与引当金 | — | 5,343 |
| ポイント引当金 | 34,097 | 34,630 |
| 繰延税金負債 | — | 25,073 |
| その他 | 1,006,693 | 857,244 |
| 流動負債合計 | 5,121,814 | 4,490,405 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,585,975 | 7,403,270 |
| 退職給付引当金 | 75,174 | 86,537 |
| 環境対策引当金 | 15,779 | 13,568 |
| 資産除去債務 | 29,303 | 29,702 |
| その他 | 102,859 | 131,584 |
| 固定負債合計 | 6,809,092 | 7,664,663 |
| 負債合計 | 11,930,906 | 12,155,068 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 437,480 | 450,452 |
| 資本剰余金 | 1,136,112 | 1,148,990 |
| 利益剰余金 | 2,526,942 | 2,787,058 |
| 自己株式 | △136,747 | △143,552 |
| 株主資本合計 | 3,963,787 | 4,242,948 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,677 | 879 |
| 繰延ヘッジ損益 | 25,501 | 235,282 |
| 為替換算調整勘定 | △1,582 | △1,702 |
| その他の包括利益累計額合計 | 25,596 | 234,459 |
| 純資産合計 | 3,989,384 | 4,477,408 |
| 負債純資産合計 | 15,920,291 | 16,632,476 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 17,011,430 | 16,356,010 |
| 売上原価 | 10,287,422 | 9,927,629 |
| 売上総利益 | 6,724,007 | 6,428,381 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費及び販売促進費 | 1,749,395 | 1,726,251 |
| 貸倒引当金繰入額 | 21,587 | 18,891 |
| ポイント引当金繰入額 | 33,642 | 34,630 |
| 給料手当及び賞与 | 1,753,601 | 1,743,845 |
| 賞与引当金繰入額 | 80,802 | 87,943 |
| その他 | 2,294,332 | 2,163,976 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 5,933,362 | 5,775,538 |
| 営業利益 | 790,645 | 652,843 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,691 | 4,297 |
| 受取配当金 | 895 | 981 |
| 為替差益 | — | 23,171 |
| その他 | 33,705 | 26,293 |
| 営業外収益合計 | 36,292 | 54,745 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 110,160 | 101,469 |
| 為替差損 | 80,251 | — |
| デリバティブ評価損 | — | 32,226 |
| その他 | 3,578 | 703 |
| 営業外費用合計 | 193,990 | 134,399 |
| 経常利益 | 632,947 | 573,189 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 245 | — |
| 店舗閉鎖損失 | — | 7,076 |
| 特別損失合計 | 245 | 7,076 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 632,702 | 566,113 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 272,994 | 169,333 |
| 法人税等調整額 | △669 | 39,852 |
| 法人税等合計 | 272,325 | 209,186 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 360,376 | 356,926 |
| 四半期純利益 | 360,376 | 356,926 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 360,376 | 356,926 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,132 | △798 |
| 繰延ヘッジ損益 | 24,559 | 209,781 |
| 為替換算調整勘定 | △855 | △119 |
| その他の包括利益合計 | 22,571 | 208,863 |
| 四半期包括利益 | 382,947 | 565,789 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 382,947 | 565,789 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 632,702 | 566,113 |
| 減価償却費 | 272,580 | 264,486 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 3,921 | 3,303 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △76,354 | △71,706 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | 6,939 | 5,343 |
| ポイント引当金の増減額 (△は減少) | 1,293 | 533 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 9,431 | 11,363 |
| 環境対策引当金の増減額 (△は減少) | — | △2,210 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,587 | △5,279 |
| 支払利息 | 110,160 | 101,469 |
| 為替差損益 (△は益) | 42,022 | △57,809 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 73,300 | 131,499 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △145,872 | 201,187 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 179,218 | △54,120 |
| その他 | 33,782 | △51,403 |
| 小計 | 1,140,537 | 1,042,768 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,663 | 5,204 |
| 利息の支払額 | △108,269 | △100,730 |
| 法人税等の支払額 | △121,900 | △276,281 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 913,030 | 670,961 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △900 | △200,900 |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 200,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △49,354 | △17,141 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,634 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,041 | △2,102 |
| その他 | 550 | 98 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △54,379 | △20,044 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | — | △600,000 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | 2,800,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,488,269 | △1,658,436 |
| 自己株式の取得による支出 | △12,438 | △6,805 |
| ストックオプションの行使による収入 | — | 25,850 |
| 配当金の支払額 | △95,823 | △96,102 |
| その他 | △27,321 | △33,608 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,523,852 | 430,897 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △42,286 | 58,121 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △707,488 | 1,139,935 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,352,030 | 1,565,278 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,644,542 | 2,705,213 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I. 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注)2 |
|---------------------------|-----------|---------------|---------|------------|-------------|---------------------------|
| | 通信販売事業 | ディスカウント 事業 | 卸販売事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,516,906 | 8,106,371 | 388,153 | 17,011,430 | — | 17,011,430 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 8,516,906 | 8,106,371 | 388,153 | 17,011,430 | — | 17,011,430 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 1,217,080 | △90,665 | 44,653 | 1,171,068 | △380,422 | 790,645 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△380,422千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注)2 |
|---------------------------|-----------|---------------|---------|------------|-------------|---------------------------|
| | 通信販売事業 | ディスカウント 事業 | 卸販売事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,083,207 | 7,858,784 | 414,019 | 16,356,010 | — | 16,356,010 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 8,083,207 | 7,858,784 | 414,019 | 16,356,010 | — | 16,356,010 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 996,268 | △34,231 | 32,180 | 994,217 | △341,373 | 652,843 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△341,373千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。